



2013年3月15日
イオン株式会社

国内初！スマートコミュニティ※参加型の大型商業施設登場 次世代エコストア「スマートイオン」の展開をスタート 地域との協働によるエネルギー効率化、防災対応等を実践する“まちづくり”

イオンは、地域との協働によりエネルギーの効率化や防災などに“まちぐるみ”で対応する次世代型エコストア「スマートイオン」の展開をスタートします。3月15日の第1号店「イオンモール八幡東」のリニューアルオープンを皮切りに、「イオンタウン新船橋」、「イオンモール大阪ドームシティ」、「イオンモール幕張新都心」を「スマートイオン」と位置づけ展開します。この4店舗は、これまでイオンが展開してきたエコストアの基準に加え、2012年8月に発表した環境目標「イオンのエコプロジェクト」に則った新たな5つの基準を満たし、持続可能な“まちづくり”をめざします。

イオンは今後も「スマートイオン」の展開を通じて、地域のスマートコミュニティに参画してまいります。

※スマートコミュニティ： ITネットワークを活用した地域単位でのエネルギー（電力、熱など）の需要・供給コントロール、交通環境（スマートモビリティ）や電子マネーなどのサービスを有効活用する次世代の社会システム。



【次世代エコストア「スマートイオン」】

イオンは、2005年よりソーラーパネルの設置や従来の店舗と比べてエネルギー消費量を20%以上抑制するなど、最新の技術や仕組みを導入した「エコストア」をはじめ、環境に配慮した店づくりを進めてきました。

本年より展開をはじめ「スマートイオン」は、節電、省エネに対する社会的なニーズの高まりや、今後予想される慢性的な電力供給不足、また東日本大震災の経験を踏まえ、“まちぐるみ”の視点を取り入れます。「スマートイオン」は、エネルギーの融通（スマートエネルギー）や防災・地域インフラの構築、生物多様性・景観への配慮など地域との連携・協働が不可欠な5つの基準のすべてを満たします。イオンはそれぞれの地域の特性を尊重し、地域のニーズに適った「スマートイオン」の展開をめざします。

【「スマートイオン」5つの基準】

スマートエネルギー

エネルギーを地域で効率的に融通しあう仕組みの構築を推進します。

WAON・ネットとの融合

イオンの電子マネー「WAON」やインターネット環境を積極的に活用し、環境に負荷をかけないショッピング環境やサービスをご提供します。

防災・地域インフラ

緊急時、地域の防災拠点として機能する店舗をめざします。

生物多様性・景観

自然の要素を取り入れ、景観や生物多様性を意識した店舗設計を推進します。

交通環境（スマートモビリティ）

人と環境にやさしい交通環境の創出をめざします。

【2013年オープンの「スマートイオン」】

イオンモール八幡東：地域エネルギーマネジメント型「スマートイオン」

2006年11月に福岡県北九州市に開業したイオンモール八幡東は、このたびの全館リニューアルにあたり経済産業省の「次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」に参画します。地域エネルギー管理システム（CEMS）と連携したエネルギーの「見える化」により“まちぐるみ”でのエネルギー削減に貢献し、地域エネルギーマネジメント型「スマートイオン」として生まれ変わります。（3月15日グランドオープン）



イオンタウン新船橋：まちづくり参加型「スマートイオン」

最先端の技術や知識を活かし、人と人をつなげる「スマートシェアタウン構想」と協働し、隣接するイオンモール船橋と連携して、継続的に環境価値を創出する未来のまちづくりに参画します。（今春開業予定）



イオンモール大阪ドームシティ：防災対応型「スマートイオン」

ガス・コージェネによるエリアでの熱融通と独立電源を実現し、省CO₂対策とエネルギーセキュリティ向上を両立させる防災対応型「スマートイオン」を実現します。さらに、地域の防災機能の向上に貢献するべく、イオンモール大阪ドームシティは周辺施設と相互に連携を図ります。
(初夏開業予定)



イオンモール幕張新都心： (12月開業予定)

